

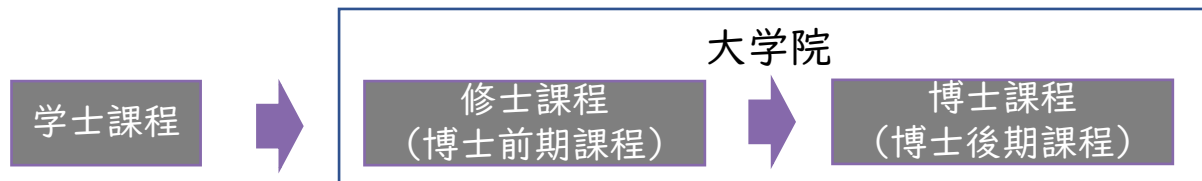


大学院進学の特・デメリット

新入生のみならず、入学おめでとうございます。これから4年間を、それぞれが選んだ学部・学科で多くの事を学んでいこう。この学部で学んだ分野について、より専門的に研究を行うのが大学院です。私も現在大学院に在籍している学生ですが、学部に入学した当時は大学院に進学を決めていたわけではなく、そもそも大学院がどんなところなのかもよく知りませんでした。今後、授業や卒業研究を通して、「研究が楽しい」「より専門性を高めたい」と思ったときのために、大学院進学の特・デメリットを紹介します。

【大学院の仕組み】

学部の4年間を無事に卒業すると、大学院に進学できます。大学院は修士課程の2年と博士課程の3年で構成されています。各自テーマを決め研究に取り組み、修士論文を提出して学内の審査を通過すると修士の学位を取得できます。修士課程を修了すると、博士課程に進学することも就職することもできます。博士課程に進学するとさらに3年間研究を行い、博士論文を提出して審査を通過すると、博士の学位を取得できます。博士課程に進学した人の多くは研究者を志しています。



【大学院進学の特・デメリット】

好きなことを続けられるという意味では、大学院進学は最高の選択だと思います。しかし、大学院進学にあたっては、良い部分だけでなく大変な部分もあります。特に、沖縄だと県外の大学に通っている学生にはない大変なこともあるようです。

メリット

- 自分のやりたい研究に取り組める
- 就職先の選択肢が増える
- 給料が高くなる

デメリット

- 学費がかかる
- 就活するのが大変
- 学会などに参加するのにお金がかかる

やはり一番心配なのは金銭的な部分です。順調にいても、修士ならプラス2年、博士ならさらにプラス3年の学費や生活費がかかります。研究内容によってはなかなかバイトをするのも難しいこともあります。また、琉大で大学院にいくと、就活や学会などに行くのにも泊りがけで飛行機を使っていかなければならないので、多くのお金がかかります。

色々心配事を書きましたが、なにより自分で決めたテーマを研究できることが大学院進学の特最大のメリットです。より自分の興味に近い先生が他の大学にいる場合には、大学院から別の大学に進学することもできます。学部生の中に自分の興味のあるものを見つけ、極めてみたいと思ったら、ぜひ大学院進学も考えてみてはどうでしょう。

(理工学研究科 D3)